

年頭
所感

誇り高く、満足できる暮らしを求めて

新 年明けましておめでとうございます。
輝かしい新春を市民の皆さまとともに迎える
ことができましたことを心からお慶び申し上げます。

留萌市の新たなまちづくりの指針となる“第5次
留萌市総合計画”と、まちの最高規範となる“留萌
市自治基本条例”が昨年12月の議会で議決され、今
年4月からいよいよスタートします。

留萌市は、これからの10年間、この“第5次留萌市
総合計画”と“留萌市自治基本条例”を両輪として、
自主自立した自治体運営に取り組んでまいります。



留萌市長 高橋 定敏

“第5次総合計画”で描く留萌の未来像は、決して
斬新で、夢のふくらむものではありません。むしろ、家族がひとつになり、
人々が温かなきずなで結ばれていた時代。人と自然が共存し、地域の歴史や文化を
大切にし、安全で安心な食べ物を口にできた暮らし。そうした時代の経済的には豊
かではなかったけれど、誰もが明日への希望を抱き、子どもたちのはちきれそうな
笑顔でいっぱいだった暮らしに、今、私は想いをはせています。

懐かしい未来へ。この“新しい価値観”で、地域社会を再生する時間が、この
第5次総合計画の10年です。

市民と市役所が力を合わせ、ぬくもりのある地域社会を築き、郷土愛を育み、笑
顔と活気にあふれた暮らしを送り、「このまちに誇りを持ち、満足して暮らす」と
いうことを、市民の皆さまとともに考え、挑戦していきたい。

この理念を胸に、ここに生きる2万7千人の留萌市民が、それぞれの幸せに向
かって、懸命に生きていくことを望むものです。

留萌市は今年、開基130年・市政施行60年・開港70年を迎えます。
私は、この節目の年をさらなる飛躍の年ととらえ、“留萌市自治基本条例”
に掲げた自治の基本原則である「情報共有」「市民参加」「協働」によって、市民主
体の自治の実現に向けて努力してまいりたいと思っております。

本年が、皆さまにとりまして健康で素晴らしい年となりますよう心からご祈念申
し上げ、新年のご挨拶と致します。